

# 学校長の挨拶

千曲市立更級小学校長

児玉 淳子

更級小学校は、明治6年に羽尾村旧堂を仮校舎として教授を開始し、翌明治7年に羽尾村・須坂村・若宮村の3つの村の申合組合が、現在地(羽尾1864番地)に開校した鼎立(ていりつ)学校を前身としています。以後、明治・大正・昭和・平成と激動の荒波を越え、140年余りにわたって数多くの人材を輩出しています。



青空の下の明るい昇降口

平成16年11月に建て替えられた校舎は、教室はもちろん廊下や階段に、木目が美しく整えられた木材がふんだんに使われ、2階までの高い吹き抜けの昇降口ホールが特徴です。

また、各教室から、千曲市のシンボルとも言える冠着山を見ることができます。

このように、美しく整った学校環境のもとで、更級小学校の子どもたちは、毎日楽しく元気に生活しております。

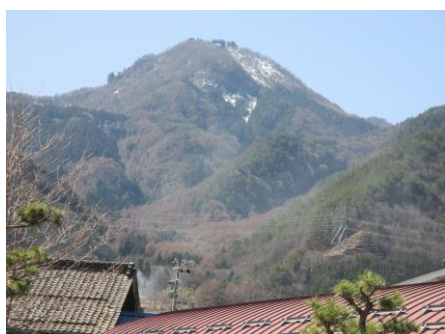
## 学校教育目標

**「目を上げ、手を組み、たくましく進む子」**

この目標は、昭和45年に明治以来の木造校舎から鉄筋コンクリートの校舎に改築した折、その落成を記念して建立された、笹村草家人作『騎馬戦の像』に由来しています。玄関の東側に建つこの像は、校舎正面にそびえる冠着山に正対し、真



冠着山を仰ぎ見る「騎馬戦の像」



校舎南側にそびえる春の冠着山

っ直ぐな眼差しを遙か冠着山の山頂に向けています。そのりりしい姿、友と手を組み合って共に歩む姿に、更級の子どもの理想の姿を重ね、「目標に向かって 協力し たくましく生きる 子ども」の育成を、本校の教育目標としています。

## 《今年の重点目標》

- **わかったことをもとに、考えよう！**
- **自分の考えを、みんなに発表しよう！**

## 《今年の重点活動》

### ○ **確かな力をつけるための「チャレンジタイム」の工夫**

毎朝、昇降口から、元気な子どもたちの挨拶の音が響いています。

授業や集会活動、児童会、縦割り活動など、さまざまな活動の中で、しっかり自分の考えを発表している子どもたちが増えてきました。

一人一人の子どもたちが、心や体、学習の面の「確かな力」をつけることはもちろん、将来にわたって自信を持って生きていく力をつけていくために、授業や学校生活の充実、学んだことを定着させ、よりよく生かすことに取り組んでいます。特に、今年は、「授業」「チャレンジタイム」「家庭学習」のそれぞれの内容の充実と『つながり』方の工夫を、学校全体で取り組んでいきたいと思えます。

本校では、以前より、『つながりによる魅力的な更級小学校づくり』を進めてきました。友達とのつながり、先生とのつながり、家族とのつながり、地域の方とのつながり……。更級小学校は、たくさんの「温かな」つながりがあります。「つながり」でしっかり学ぶことによって、更級の子どもたちは、より健やかに、よりたくましく成長してくれることを期待しています。

古い歴史と文化を土壌にする、この更級小学校で、すばらしい子どもたちと共に学び、温かな保護者、地域の皆様方とともに、更級の地に根ざした「さらしなの教育」に邁進して参りたいと思っております。

どうか、よろしく願いいたします。

平成28年4月 千曲市立更級小学校長

児 玉 淳 子